

平成27年度 事業計画

平成27年度は、日本青年館にとって大きな節目の年になります。この3月31日をもって、日本青年館はいったん営業を休止し、移転・建設の動きに入っていきます。4月には、港区に開設する新たな事務所への引っ越しと同時に、現日本青年館の解体が始まります。現日本青年館は、昭和54年に完成して以来、施設を維持管理・活用しながら、青年団をはじめ青少年活動や社会教育、文化・芸能・スポーツ活動等の拠点としての役割を果たしてきました。全国の青年団員による5億円建設募金を含め、関係機関の多大なご支援と、36年間にわたって青少年活動の拠点となった二代目日本青年館に改めて感謝しながら、初代の青年館から一貫して果たしてきたその役割を、いよいよ三代目の日本青年館に引き継いでいかなければなりません。

このような節目を迎える中、平成27年度は次のような課題に取り組んでまいります。

まず第一は、新たな日本青年館の建設に着手することです。日本青年館の設計は最終段階に来ております。今年度は、年度当初に施工業者を選定し、いよいよ工事発注して建設を進めていくこととなります。新日本青年館は、ホール、事務所、ホテルという複合施設となり、あわせて日本スポーツ振興センターとの合同ビルになることから、施工業者の決定、着工と進む中で、しっかりとその推移と進捗状況を注視し管理してまいります。

あわせて、建設着工から完成に至る資金スキームの見通しの中で、日本青年館の負担軽減に向けて経費の節約に努めると共に、関係各所への働きかけをさらに継続していかなければなりません。

第二に、日本青年館が休業中も仮事務所を拠点に、これまで実施してきた日青協への支援をはじめとした公益事業を継続することです。休業中は、本館の収入がないため、分館「山中湖畔荘清溪」の収入を柱に、営業補償等を含めた移転関係費をもとに、一般財団法人としての2年目を見据えながら、変わることなくその社会的使命を果たしてまいります。

さらに第三に、新しい日本青年館が完成する平成29年度に向けて、新施設の運営、維持管理、ホテル部門の収益事業や営業形態、公益事業のあり方やスタイルなど、日本青年館の新しいシステムや価値を作り上げていくことが求められています。今年度はそのスタートの年にしてまいります。

以上のような観点から、今年度は下記の事業を展開していきます。

《公益事業》

1. 青年活動振興事業

1) 第64回全国青年大会

平成27年11月13日～16日 東京都内

2) 第61回全国青年問題研究集会・青年活動支援者フォーラム

平成28年3月4日～6日 山中湖畔荘清溪

3) 第46回北方領土復帰促進婦人・青年交流集会

平成27年7月 根室市

4) 第24次植林訪中団

平成27年9月 中国

5) 韓国派遣

平成27年12月 韓国

6) 日中青年交流訪日代表団受け入れ

平成28年1月

2. 第64回全国民俗芸能大会

平成27年11月21日 国立オリンピック記念青少年総合センター大ホール

3. 出版事業

1) 雑誌「青年」の発行 月刊誌「社会教育」の特集として位置付けて配布。

2) 月刊誌「社会教育」の発行 毎月

4. 文化事業

1) 山中湖国際音楽祭2015

平成27年9月19日～21日 山中湖畔荘清溪

2) ウィーン・ピアノデュオ・クトロヴァッツ公演交流

平成27年11月20日～12月6日 全国各地

5. 高校オーケストラ活動支援事業

1) 第16回全国高等学校オーケストラ・サマークリニック

平成27年8月16日～19日 山中湖畔荘清溪

2) 第22回全国高等学校選抜オーケストラ・フェスタ

平成28年1月6日～8日 文京シビックホール

3) 全日本高等学校選抜オーケストラ海外公演2016 平成28年春を予定

6. 第20回清溪セミナー

平成27年10月28日～30日 スクワール麴町（東京都千代田区）

7. 国際交流

1) 中日青年交流中心幹部代表団受け入れ 平成27年 時期未定

2) 訪中団の派遣（全国青年会館協議会と共催） 平成27年秋を予定

《関連事業》

1. 全国青年会館協議会

- 1) 総会・役職員会議 平成27年6月22日～23日 沖縄県青年会館
- 2) 理事会 平成28年2月頃を予定
- 3) 訪中団の派遣 平成27年秋を予定

2. 全国青年団OB会第34回総会岩手大会

平成27年10月12日～13日 岩手県鶯宿温泉「ホテル森の風」

3. 第71回田澤義鋪記念会 平成27年11月13日

4. 大九報光会 平成27年11月1日 明治神宮

5. 清溪フォーラム行政懇談会 平成27年 時期未定 愛知県豊明市

6. 全国青年団OB県議の会